

# カラムツ心持ち平角材（コアドライ）の製造コストと地域材利用による経済波及効果について

林産試験場 利用部 資源・システムグループ 石川佳生，古俣寛隆

## 研究の背景・目的

- 建築分野へのカラムツ利用を拡大するため、「コアドライ使用に係る事業者認定実施要領（北海道木材産業協同組合連合会）」に、平角材が追加されました。
- 現在、輸入木材が市場優位となっている建築分野において、コアドライ材の利用拡大を図るためには、輸入材の価格に対抗することが必須となります。
- コアドライ平角材は、乾燥スケジュールが従来よりも長期であるため、コストアップの要因となっています。
- 本研究では、コアドライ平角材の製造経費削減策を適用した場合のコスト試算と、木造軸組住宅の構造材にコアドライ材を使用した場合の地域経済への波及効果について検討しました。

## 研究の内容・成果

- ◆コアドライ平角材の製造経費削減策として、乾燥時の燃料への製材端材利用と生産規模を拡大した場合の製造コストから、販売価格と生産量を試算しました（図1）。
- ◆製造経費削減策の適用によって、輸入材と価格的に対抗できる可能性が見いだされました（図2）。

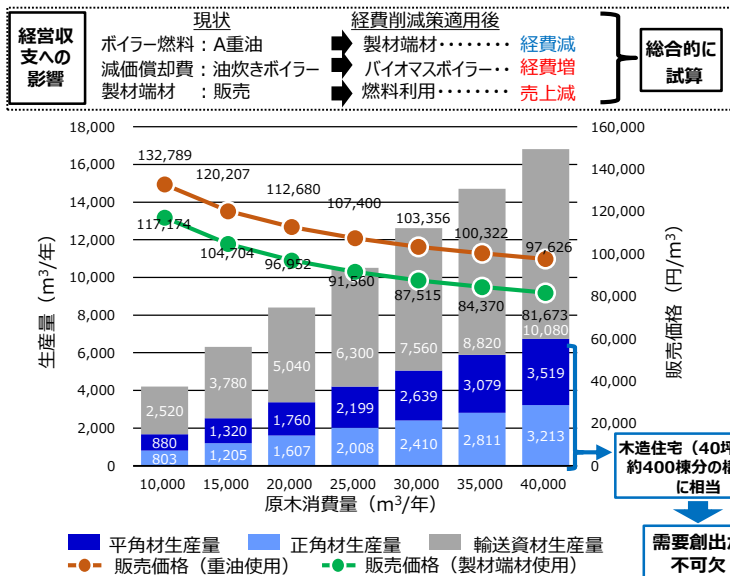


図1 工場規模別の各製材の生産量とコアドライ材乾燥時の燃料の違いによる販売価格 (売上高営業利益率を5%に設定した場合)

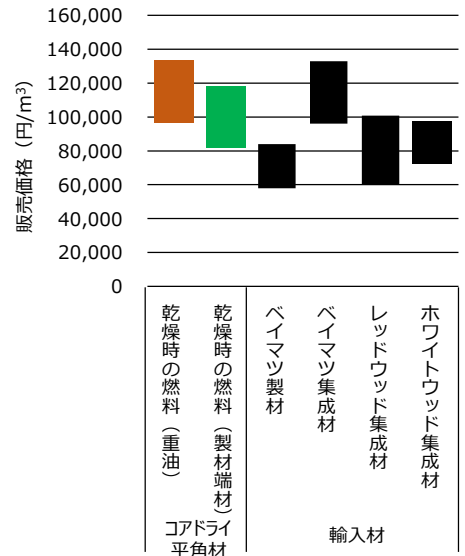


図2 コアドライ平角材と輸入材との価格比較

- ◆公営住宅に使用される木材製品を対象に、道産材を用いた場合と、移輸入材を用いた場合の道内への経済波及効果を試算しました。道産材を用いた場合の支払額は移輸入材を用いた場合よりも多くなりますが、地域への経済波及効果は圧倒的に道産材利用の方が高く、特に間接効果は林業部門(育林・素材等)への波及が大きくなると試算されました(表1, 図3, 4)。

表1 公営住宅に使用される建築材の単価

	道産材		移輸入材	
	部材の種類	単価 (円/m³)	部材の種類	単価 (円/m³)
構造材	正角 コアドライ材	96,000	集成材	85,000
	平角 コアドライ材	112,000	集成材	78,500
羽柄材	製材	52,000	製材	52,000

※試算条件  
 建物：1階建て在来軸組構造共同住宅1棟（4戸）  
 延床面積：約90坪  
 建築材の使用材積：52.4 m³  
 構造材:22.4 m³, 羽柄材:30.0 m³

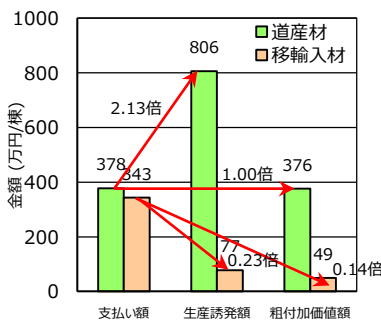


図3 道産材と移輸入材を使った場合の経済波及効果の比較

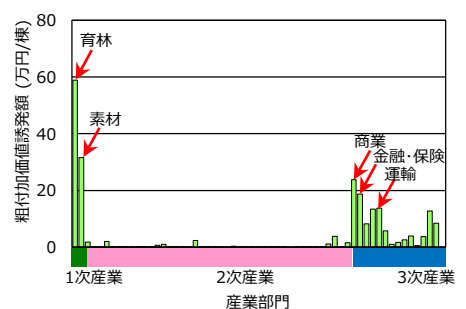


図4 道産材利用により間接効果が誘発される産業(粗付加価値誘発額)

## 今後の展開

道産材の建築分野への需要拡大を目指し、コアドライ材製造におけるコスト低減策や地域経済への波及効果の試算結果を林務行政や関係事業者などに積極的に情報提供していきます。